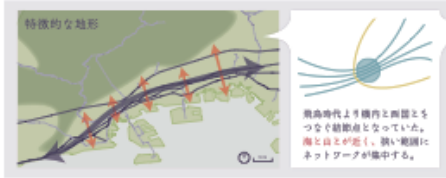




**対象地：**  
兵庫県神戸市 三宮駅周辺

駅周辺開発により求心力の増した大阪・京都に対して、神戸市中心市街地の位置づけが問われている。本提案では、昨年度実施した回遊行動アンケート調査およびプロブパーソン調査に基づき、神戸市ウォーターフロント部のマスタープランと三宮駅周辺整備の提案を行う。

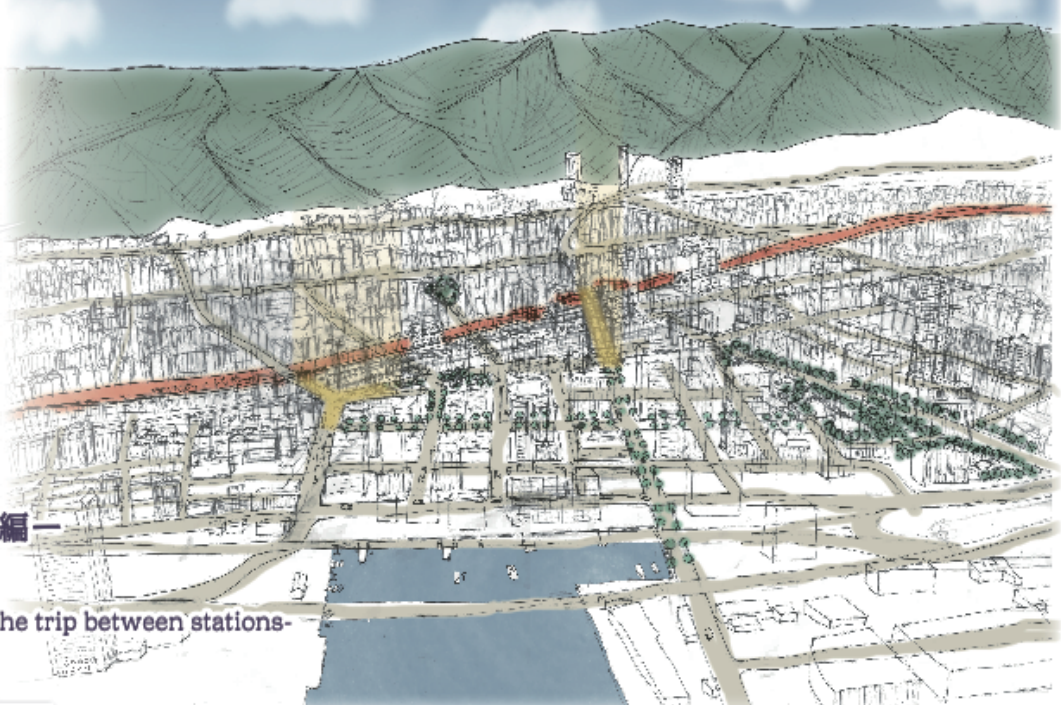


東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 芝原典史 / 新藤真冬 / 中島健太郎

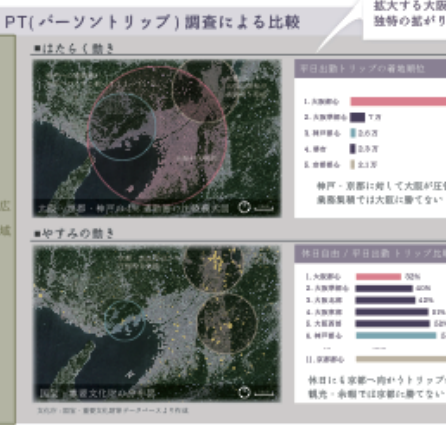
# 動と景の結び目

## 一駅間回遊に着目した港町の再編

Nexus of the flow and the scape  
-Re-editing of the harbor city based on the trip between stations-

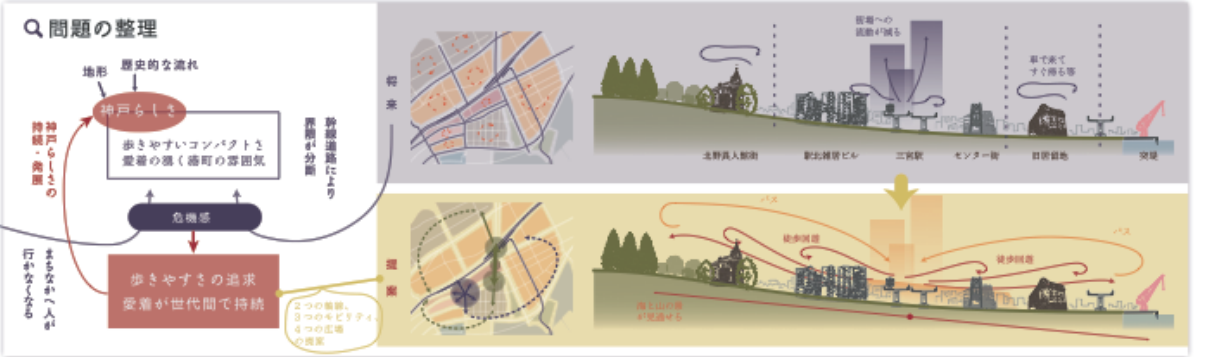
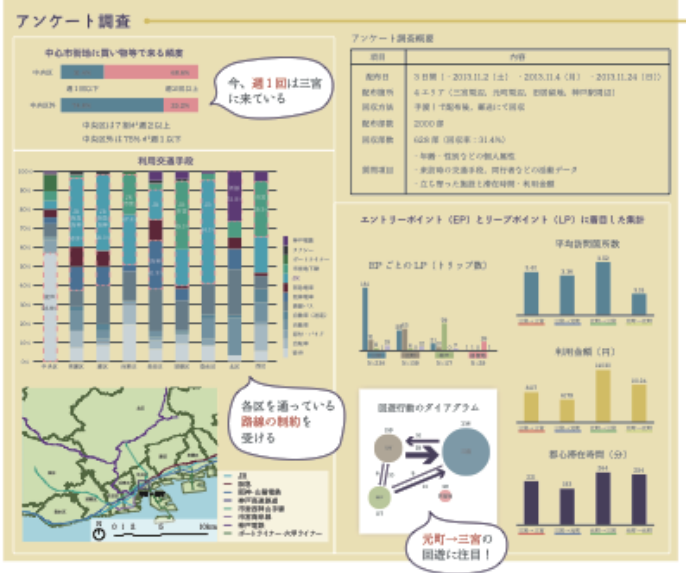
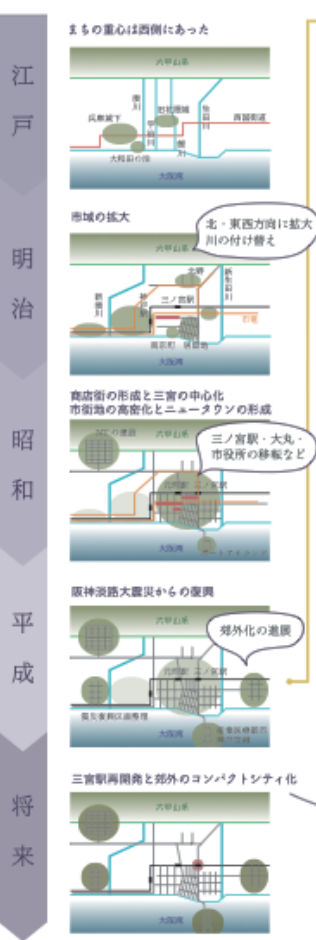


### 都市間での神戸の位置づけ



### 神戸内でのうごき

2つの調査を実施 アンケート調査で地区内外の流動を定量的に分析し、PP調査で地区内の流動パターンを把握する





## Q 都市プランと空間像の提案

急峻な地形によって生まれた密な境界の配置と、そこに適う人々の愛着が大型の再開発で失われてしまう。これからの神戸というまちを築いていくために、自由な回遊を生み出す仕組みと、変わらない地形を留め、神戸に在ることが感じられる空間をまちの中に組み込むことが必要ではないか。私たちが、人々の暮らしと、変わらぬ神戸の風景（景）が結びつく場を考えた、これからの人々に愛されていくまちのカタチを提案する。

### プランニング・コンセプト

#### ・2つの軸線

急峻な地形の上で成り立つ神戸の市街地は斜面によって区画が分断され、相互のつながりが弱くなっている。そこで、空間的に連続性を確保する軸線を通して、空間的つながりを回復し、回遊性を高める。この軸線は、既存のアクセスを継承しつつ、新たな地形と調和し、市民の生活に寄り添った、新たな「軸線」の創出を目指す。

#### ・3つのモビリティ

既存のシティエッセンス（歩行者・自転車・車）の特性を最大限に活かす。歩行者・自転車は、地形の起伏に合わせて、緩やかな坂道や階段を設ける。車は、既存の道路ネットワークを継承しつつ、新たな地形と調和し、回遊性を高める。この軸線は、既存のアクセスを継承しつつ、新たな地形と調和し、市民の生活に寄り添った、新たな「軸線」の創出を目指す。

#### ・4つの広場

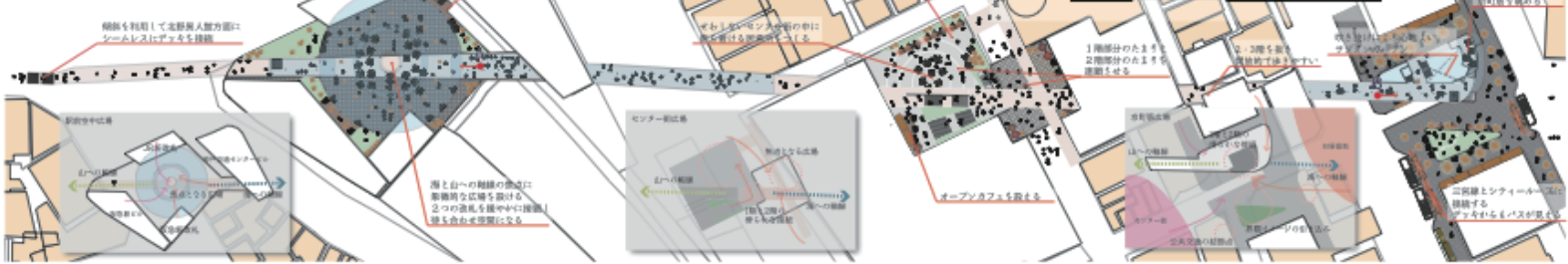
2つの軸線、3つのモビリティを最大限に活かす。歩行者・自転車は、地形の起伏に合わせて、緩やかな坂道や階段を設ける。車は、既存の道路ネットワークを継承しつつ、新たな地形と調和し、回遊性を高める。この軸線は、既存のアクセスを継承しつつ、新たな地形と調和し、市民の生活に寄り添った、新たな「軸線」の創出を目指す。

### 広場のデザイン・コンセプト

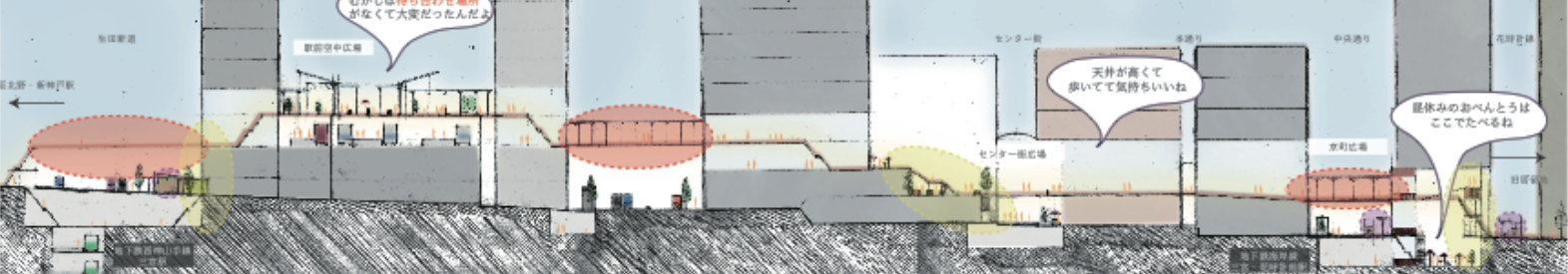
- 海と山の縁を活かしてシンボル性を創出させる
- 既存イメージを引き込んだ空間にする
- 公共交通と連動し創出している



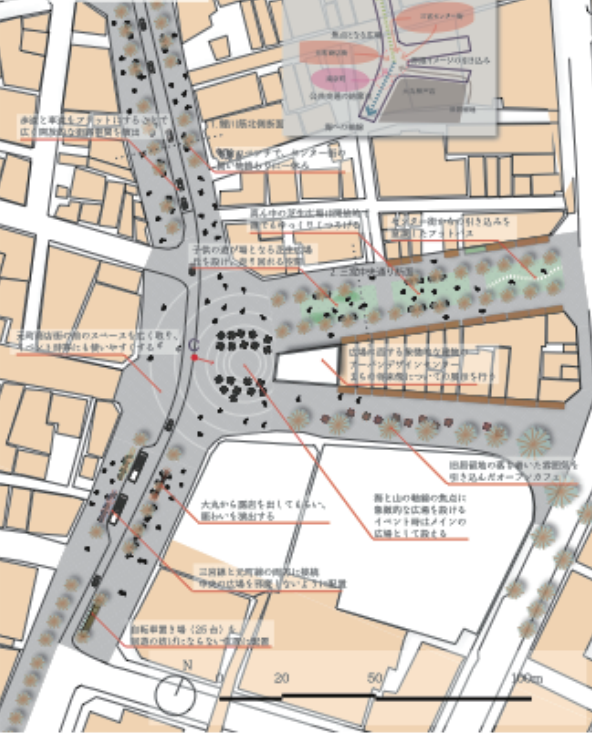
## 三宮デッキ平面図 (S=1/600)



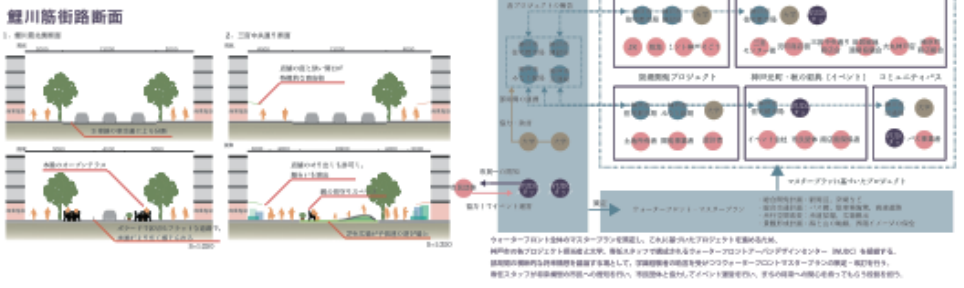
## 三宮デッキ断面図 (S=1/600)



## 鯉川筋歩行者空間平面図



## C. 鯉川筋広場



この計画は、神戸市のまちづくり基本条例に基づき、神戸市都市計画部都市計画課より許可されたものである。また、この計画は、神戸市のまちづくり基本条例に基づき、神戸市都市計画部都市計画課より許可されたものである。また、この計画は、神戸市のまちづくり基本条例に基づき、神戸市都市計画部都市計画課より許可されたものである。